

## 曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

特別号 (学校評価のお知らせ)

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

**令和3年度 学校評価中間報告**

日頃より当校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応で、教育活動、PTA活動に様々な制約がある中、皆様の御協力により無事 折り返しを迎えることができました。

さて、当校は、学校教育目標「ともに かがやく」のもと「自ら学ぶ意欲に支えられた学力の向上を図る(授業改善)」「かかわりや交流を通して社会性を育てる(心の教育)」「ユニバーサルデザインに基づく基礎的環境整備と授業づくりを進める(特別支援教育)」「運動や食育を通して健康な体づくりをめざす(体力の向上)」の4つを重点目標として教育活動に取り組んでまいりました。前期終了及び後期開始を機にこれまでの取組を振り返った学校評価の中間報告をお知らせいたします。

## 1 令和3年度の学校評価報告(前期)

	評価項目	評価	
授業改善 学力向上	① 考え表出の場で、自分の考えを表現している児童の割合が80%以上。(※児童アンケート「授業中、進んで発表したり、友だちに考えを伝えたりしている」「タブレット(iPad)を使った授業で、自分の考えを発表したり、友だちの考えを見聞きしたりすることができる」の合計) A 80%以上 B 50%以上～80%未満 C Bに至らない	B	78.8%
	② 職員内部評価「日々の授業で3つのつながり(既習事項・仲間の意見・生活とのつながり)を意識して授業改善に取り組んでいる」で、7学級以上が総合A評価となる。 A 7学級以上 B 4～6学級 C Bに至らない	B	6学級 75%
心の教育 生徒指導	① 自己肯定感・自己有用感について、肯定的な評価をしている児童が80%以上。(※児童アンケート「自分にはよいところがある」「やっていることを先生や友だちに認められて、嬉しいと感じることがよくある」の合計) A 80%以上 B 50%以上～80%未満 C Bに至らない	A	91.6%
	② いじめやトラブルの解決が100%となる。 A 100%以上 B 80%以上～100%未満 C Bに至らない	A	100.0%
特別支援 教育	① ユニバーサルデザインチェックシートを作成し、各学級の達成率が85%以上となる。 A 85%以上 B 70%以上～85%未満 C Bに至らない	A	95.0%
	② 「個別の指導計画」の見直しと情報交換及び共通行動を年2回行う。	B	前期まで 1回実施

	A 年2回以上	B 1回	C Bに至らない		
体力向上	① 「運動が好きだ」という児童の割合が80%以上になる。 A 80%以上 B 70%以上～80%未満 C Bに至らない ※前期は「体育の授業で、自分ができることが増えた」で調査。			A	前期は別評価 91.5%
	② 治癒達成率が80%以上になる。 A 80%以上 B 70%以上～80%未満 C Bに至らない				後期に公表

- ◎ 各評価項目（目標）に対しての達成度は上記のとおりです。A評価の項目は、さらに高めるために方策を立てます。B評価の項目は、その要因を明確にし改善策を立てます。後期で、さらなる向上を目指すために、職員一丸となって取り組んでまいります。

## 2 具体的な改善策

授業改善 学力向上	<p>①② 新型コロナウイルス対策の影響もあり、グループでの話し合いなど子ども同士がかかわりあいながら学ぶ授業展開が減ったこと、また、タブレット端末の導入期で、まずは、慣れることが中心となり、タブレットを活用しての意見交換や情報交流、作品発表などを行うことができるようになるまで時間がかかってしまったことなどが、B評価にとどまった要因として考えられます。</p> <p>後期は、タブレット端末のさらなる活用を進めます。また、教師が、常に3つのつながり（既習事項・仲間の意見・生活）を意識して授業に臨み、子どもたちへのフィードバックを工夫することで、子どもたちが自ら、3つのつながり（かかわり）を意識することのできる授業実践を進めていきます。これらを通し「主体的、対話的で深い学び」のある授業を実施できるよう改善を進めていきます。</p>
心の教育 生徒指導	<p>① 子ども同士で互いのよさを見つけ、伝え合う活動を実践する学級が増えてきています。この活動を全校に広げながら、適宜、縦割り班活動なども交え、さらに、子どもたちの自己肯定感を向上させていきます。</p> <p>② いじめやトラブルには、全校で取り組む体制が浸透してきています。後期もこの体制を維持しながら、さらに、「特別の教科道徳」と連動させたり、日々の教育活動のふりかえりを子ども同士で共有させたりしながら「心の教育」を進め、いじめ・トラブルの未然防止に努めていきます。</p>
特別支援 教育	<p>① 教室環境や授業のUD化によって、学びやすい環境を整える努力を進めています。しかし、一部の子どもにとって、まだ学びに向かいにくい環境となっている面もあります。後期は、UD化をさらに進めるとともに、個々に寄り添えるように改善していきます。</p> <p>② 支援の必要な子どもへの対応は学級単位ではできています。これを全校体制に広げられるように、支援の具体を共通理解する機会（研修など）を充実させていきます。</p>
体力向上	<p>① 子どもたちが楽しみながら進んで体育授業に取り組み、全ての子供が自分から体を動かすことに、抵抗なく親しめるよう、体育授業の改善に取り組んでいきます。</p> <p>② 齲歯や耳鼻科・眼科系の疾患については、御家庭の御理解とご協力をいただきながら、治癒率を高めていきたいと考えております。御協力よろしくお願ひいたします。</p>

- ◎ 前期学校評価の詳細なデータ（児童アンケート及び保護者アンケートの集計）は、曾根小学校のホームページにも掲載しております。あわせて御覧ください。

新潟市立曾根小学校ホームページ

<http://www.nisihikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

※ 裏面に、保護者アンケートの御意見一覧を掲載いたしました。アンケートへの御協力たいへんありがとうございました。